

平成30年度 東京医科大学 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン
シンポジウム・大学院特別講義
を開催しました。

日 時： 2019年2月16日（土）午後2時～4時50分
会 場： 東京医科大学教育研究棟3階大教室
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1 TEL. 03-3342-6111（代表）
主 催： 東京医科大学大学院医学研究科
同 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

平成30年度「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材」養成プラン」の一環として、平成31年2月16日（土）に東京医科大学教育研究棟3階大教室において『未来がん医療プロフェッショナル養成プランシンポジウム・大学院特別講義』が開催された。がん医療に関する様々な分野でご活躍の先生方にご講演を依頼し、東京医科大学でがん診療・研究に携わる多くの医師および医療従事者や大学院生が参加し活発な討論が行われた。



東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野
主任教授 池田徳彦先生の開会の挨拶の後、シンポジウムが開かれた。



最初に東京医科大学病院緩和医療部臨床教授 田上正先生の座長の下、国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 科長 里見絵理子先生による「AYA世代の緩和ケア」のご講演が始まり、AYA世代のがんの特徴と難しさ、国立がん研究センター中央病院の対応、今後の課題が紹介された。

続いてゲノム医療をテーマに、東京医科大学 分子病理学分野 主任教授 黒田雅彦先生の座長の下、東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門 教授 落谷孝広先生による「がんの早期発見実現に向けて：リキッドバイオプシーの世界動向」をご講演頂き、細胞外小胞 exosome が内包するマイクロRNAの解析による早期診断について詳しく解説して頂いた。

次に東京医科大学病院 臨床腫瘍科 教授
吉村明修先生の座長の下、東京医科大学 分子
病理学分野 大学院生 博士課程2年 老川桂
生先生によるご講演「DICER1 症候群モデルマウ
スの作製および発症機構の解明」が開催され、
現在研究中的の内容について詳しく報告された。



最期に東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学
分野 助教 工藤勇人先生によるご講演
「Characterization of the immune
microenvironment in brain metastases from
non-small cell lung cancer」が開催され、肺
がんの脳転移における脳局所の免疫環境につい
て報告された。



活発な質疑応答が行われ盛会の内にシンポジウム・大学院特別講義は閉会した。